

E—37 非行少女からみた親の態度

比治山女短大 下東 艶子

1. 本研究は非行のため監護施設に収容されている生徒を対象にして、子供からみた親の態度の実態調査を行ない、私がさきに行なった広島市内の普通の生活をしている中学高校短大の女子生徒対象の同じ調査と比較し、その差違を見つけ非行に関連する要因を親子関係の中に

探りたいと思った。

2. 本資料はわが国2カ所の少女苑（約百名の生徒）に依頼し、質問用紙を作成し、それぞれの担当教官に説明を乞い調査を行ない回答をえて、これを集計したものである。

3. 非行少女と普通の少女との実態調査を比較するといずれの項目においても望ましくない数が多く、その結果はつぎに挙げてあるが、百分率で示し、相反する二項目の間に中間の態度があり、その数字は省略してある。しかし、親の態度に愛情ありと答えている者が53%あることは注目すべきで、その他子供の存在を誇りとしていている者32%もあるのは救いである。

（子供からみた親の態度）

項 目	愛情 あり	冷 淡	同 情 的	加 虐 的	信 頼 的	監 視 的	子 供 を 誇 る	子 供 を 恥 ず	友 人 的	権 力 的	躰 が 厳 格	躰 が 寛 容	話 し 易 い	話 し 難 い
普 通	80	1	44	6	65	6	63	1	51	14	10	20	53	15
非 行	55	18	35	27	41	32	32	33	41	27	27	10	37	38

以上のような親子関係が現在性格形成上いかに影響したか自己判断により調査したが非行少女では特に冷淡乱暴無責任攻撃的注意をひこうとする等の点で著しい差違を示していた。